

平成27年度 文京区立誠之小学校授業改善プラン 全体計画

【開校の精神】「誠之人道（誠は天の道なり。之を誠にするは人の道なり）」

【関係法令等】

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学習指導要領
- 東京都の教育目標
- 文京区の教育目標

【学校教育目標】

- 「誠之人道」の精神をふまえ、豊かな心と生涯学び続ける意欲をもち、たくましく生きる人間を育成する。
- 心身ともに 健康な子
 - よく考えて やりぬく子
 - 心豊かで 思いやりのある子
 - 自分のよさを生かし 人のためになる子

【児童の実態】

- 知識量が多く、理解力に優れている児童が多い。
- 学習への興味・関心が高い児童が多い。
- 意欲的に課題に取り組むことができる児童が多い。
- 考えを深めたり、広げたりする学習を楽しむことができる児童が多い。
- 自分の考えと友達の考えの類似点や相違点を見いだしながら、互いに高め合う学習ができるようになった児童が多い。
- 学習意欲、思考力、表現力、理解力に課題のある児童もあり、学力の二極化が課題である。

【学校経営方針（学力向上に関して）】

目指す学校像

- ◎ 活気に満ちた明るい学校
- ◎ 教職員の創意・工夫が生きる ONLY ONE の学校
- ◎ 子供たちに夢と希望を抱かせる学校
- ◎ 地域に開かれ、地域と歩み、地域の誇りとなる学校

基礎・基本の確実な定着と一人一人のよさを生かす教育

- 1 基礎・基本の確実な定着を目指した指導の充実
 - ① 問題解決的学習、体験的学習の重視による基礎的・基本的な内容の確実な習得と言語活動の充実
 - ② 教科担任制やT・T、習熟度別学習集団による指導、少人数指導など、指導体制・指導方法の工夫
 - ③ 各学年段階に即した家庭学習のすすめによる、学習習慣の定着
- 2 日々の授業の充実に向けて、計画・実施・評価・改善（Plan Do See Improve）の日常化を図る
 - ① 週の指導計画及び自己申告を通して、実践・評価を生かしたカリキュラム編成
 - ② 個々の学習指導及び学級経営の評価の実施と授業改善
 - ③ 授業研究による授業の相互評価（空き時間の利用による他学年、他学級の授業参観、相互評価）
- 3 個のよさを生かす教育の推進
 - ① 基礎・基本・発展の系統を考え、個に応じた学習課題設定の工夫（習熟度別指導、少人数指導、総合的な学習等）
 - ② ユニバーサルデザイン視点に立った授業改善

ONLY ONE としての誠之小学校

- 1 新しい学校の創造に向けた研究の実施
 - ① 誠之小学校方式による「学校運営協議会」の充実による地域運営学校づくりを推進。適正な学校運営の実現を図るための校内体制の整備、教職員の意識改革、適宜評価を実施。
 - ② 地域の特性や学校の歴史等に関する、学校運営協議会主催の研修会を、転入教職員及び若手教員対象に実施。
- 2 「心と体の健康づくり」校内重点研究の充実
 - ① 「誠之スタイル」に基づき、言語活動の充実を軸に、全教科・領域を通して豊かな心と健やかな体を育成
 - ② 授業研究では、教材研究及び子供たちの意欲向上と予想される動きや反応を重視しての提案と成果の公開
- 3 外国語活動の充実と系統的な指導の実践に向けた年間指導計画の改善
 - ① 教員と外国人英語指導員、地域協力者の参加する指導体制による、コミュニケーション能力の向上
 - ② 異文化理解を深め、グローバル化の進む社会の一員としての基礎を育成
- 4 特色ある活動の継続実施
 - ① 学校教育全体における人権教育の充実
 - ② 「誠之人道」の精神を受け継ぐ人材の育成
 - ③ 「誠之スタイル」を正しく受け継ぐ人材の育成
 - ④ 開校140周年記念事業の実施
 - ⑤ 同学年、異学年交流の充実と、記念児童集会の実施

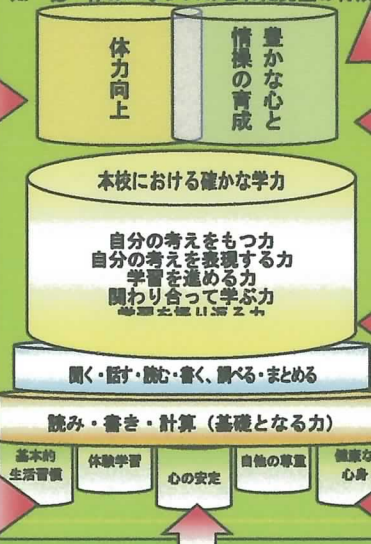
【各教科の指導の重点】

- 聞く・話す・読む・書く、調べる・まとめるなどの学習活動において基礎的・基本的内容を徹底指導し確実に身に付けさせる。
- 言語に関する関心や理解を深め、言語活動の充実を図る。
- 問題解決的学習、体験的学習を重視し、見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動を行い、児童が自ら考えること、判断すること、表現することなどを十分に経験させる。
- 教科担任制、T・T、習熟度別指導、少人数指導などを実践して、個に応じた指導の充実を図り、基礎・基本の確実な定着を目指す。
- 様々な人権課題を踏まえた人権教育の充実を図る。
- 全校や各学級での取組・実践を通し、意図的・計画的に体力の向上を図る。

【生活指導の重点】

- 児童のよさを認め伸ばすことを基本にしつつ、基本的な生活習慣の確立、自主的・自律的に行動する能力・態度の育成に努める。
- 児童の危機予測能力や危機回避能力の向上を目指すとともに、防災教育を充実させる。
- 「誠之サポートチーム」による体制を整え、「誠之小学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめに対する未然防止、早期発見、早期対応、早期解決に努める。

知・徳・体のバランスのとれた児童の育成



【地域支援活動・PTA活動の重点】

- 人間関係や社会の中での習慣や規則を学ぶ。
- 職業生活や社会貢献を通じて自己実現を図る。
- 教育実習生によるｽﾀｰﾄﾞｰ体験活動の充実を図る。

【総合的な学習の時間の指導の重点】

- 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- 自然体験・社会奉仕体験を通し、学習への主体的な態度、課題設定や問題解決能力・学び方やものの考え方などの育成を図る。

【道徳教育の指導の重点】

- 道徳の時間を要として、日常生活をはじめ全教育活動において『副読本』『私たちの道徳』『東京都道徳教材集』『文京区にゆかりのある人物の教材』を活用し、児童の体験を生かし、自他を尊重し、自主・自律、根気、思いやり、感謝、感動など、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深めるようにする。
- 全教育活動を通して、新しい時代に生きる倫理観や道徳性、豊かな情操を培う。

【特別活動の指導の重点】

- 児童の心身の調和的発達やよさの伸長を図り、協力してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度と実践力の育成に努める。
- 同年齢や異年齢の集団活動を通して、相互の交流を深め、社会性、連帯感を培う。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域との連携の工夫
◎ 問題解決的学習、体験的学習を展開する。 ◎ 個に応じた指導を充実させる。（T・T、習熟度別指導、少人数） ◎ 専門性を生かした教科担任制を進める。 ◎ 情報機器を活用する。	◎ 土曜授業を実施したり、水曜日に5校時を実施したりして時数の確保に努め、ゆとりある充実した学習指導を行う。 ◎ 外国語活動を全学年で実施する。 ◎ 夏季休業中に、学習支援日を実施し、補充的な学習を行う。 ◎ 新体力テストを全学年で実施し、結果を体育授業の改善に活かす。	◎ 知・徳・体のバランスのとれた児童の育成を図る。 ◎ 事前授業・事後授業を実施し、全学年研究授業を実施する。 ◎ 校内OJTを活用して、相互授業観察を実施する。 ◎ 指導教諭模範授業を全教員が学ぶ機会とする。	◎ 年間指導計画、評価規準を作成し、各学年・各教科の目標に準拠した評価を計画的に実施する。 ◎ レディネステスト、ポストテストを実施して学習成果を評価し、指導計画の作成や実施に活かす。	◎ 6回の授業公開と教科の授業公開講座、道徳授業地区公開講座において、授業公開を行う。 ◎ 授業公開、行事のアンケートや学校関係者評価を授業改善に活用する。 ◎ 地域施設と（高齢者施設）や中学校、幼稚園、保育園との交流を学習に位置付ける。 ◎ 保護者の協力や地域の人材を活用し、個に応じた学習支援に活かす。 ◎ HPで積極的に学校の様子を公開し、学校の教育活動に対する理解を図る。

	育てたい力	具体的な授業改善策	評価・反省（2月）
国語	- 相手に応じ、身近なことについて事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないように聞いたり、話題に沿って話し合ったりする。 - 経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く。 - 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりして本や文章を読むとともに、読書につなげられるようにする。 - 伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴や決まり、文字の使い方などについて理解して使ったりするとともに、文字を正しく丁寧に書く。	- 朝の会や帰りの会、国語の授業の初めなど、短時間の「話す聞く」場面を設定し、身近なことから話題を見付けられるようにする。話型や受け答えの例を示して話せるようにするとともに、独話・対話・グループなどの形態を取り入れる。教科書の例文を基に短文の書き方の形式を示し、順序よく書けるようにする。経験したことや出来事の中から取材する方法を知らせ、他教科とも関連させながら書く機会を設定する。 - 語のまとまりや言葉の響きに気を付けて正しく音読できるように、カードを活用する。読み取ったことを書く活動を取り入れ、発展読書の環境を整えるようにする。 - 書写の時間を確保し、視写を多く取り入れ、ひらがなやかたかな、漢字を正しく書けるようにする。140周年のかるたを作成したり、親しみやすい詩を取り上げたりして、言葉のリズムを捉えさせる。	
算数	- 数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもととする。 - 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、数理的な処理に親しみ、考え、表現したり工夫したりする。 - 整数の計算をしたり、身の回りにある量の大きさを比較したり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり、読み取ったりするなどの技能を身に付ける。 - 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方及び整数の計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を豊かにする。	- 数と計算領域ではブロック操作を十分に行い、図形や測定の場面では、具体物に多く触れさせ、視覚的に理解できるような指導を行う。 - 整数の意味や表し方、計算の意味については、具体物や操作活動を十分に行うことで、意味や理解を深める。 - 問題解決型の授業を展開し、自力解決場面、集団検討場面における児童の表現力を育成する。 - 自力解決場面で、解答やそれに至る考え方を説明する機会を多くつくり、数理的な処理が円滑に行えるように指導する。 - 友達に分かりやすく伝えられるよう、少人数での伝え合いや、友達の考えを聞く場を設けることで、自分なりに表現することに慣れる。 - たし算、ひき算などの計算問題に触れる機会を多く設定し、繰り返し取り組める環境を作る。	
生活	- 身近な人、社会、自然及び自分自身に関心をもち、すすんでそれらと関わり、楽しく意欲的に学習したり、生活したりしようとする。 - 調べたり、育てたり、作ったりするなどの活動や学校、家庭、地域における自分の生活について、自分なりに考えたり、工夫したり、振り返ったりして、それを素直に表現する。 - 具体的な活動や体験によって、学校、家庭、地域、公共物、身近な自然、動植物、自分の成長などの様子、それらと自分との関わり及び自分自身のよさに気付く。	- 幅広く様々な活動をさせる中で、人や物に対する関心を高め、より意欲的に関わる姿を育てていく。また、興味や関心をもてる素材を教材にし、意欲的に取り組めるようにする。 - 活動する中で気付いたことを文や言葉で表現する力に個人差がある。個別の支援や、カードへの記入のさせ方を工夫する。また、活動や気付きを価値付けたり、友達の表現方法を真似させたりして自信をもたせる。 - 自然や動植物、自分を含めた人々に繰り返し関わり、それぞれのよさを発見させる。 2年生、幼・保育園児、動植物と触れ合う活動を取り入れ、お互いのよさに気付くことができるようにする。 140周年のお祝いの活動を、生活科の単元と関連させて学習させる。	
音楽	- 楽しく音楽に関わり、音や音楽に対する関心をもち、音楽表現や鑑賞の学習に自らすすんで取り組もうとする。 - 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生みだすよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いをもつ。 - 音楽表現をするための基礎的な技能を身に付け、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくり出す。 - 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生みだすよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲や演奏の楽しさに気付く、味わう。	- 一人一人が楽しんで取り組めるような教材を精選する。 - 専門的なゲストティーチャーの指導により、鍵盤ハーモニカの基礎・基本が身に付くようにする。 - 拍の流れを感じ取り、拍打ちやリズム打ち、言葉のリズムを感じ取ることができるような活動を多く取り入れる。 - 地声で歌ったり、喉に無理な負担をかけて歌ったりしないように、自分の歌声に気を付けて、響きのある声で歌うことを意識させる。 - 音楽会に向けて、全体で音やリズムを合わせることを実感するために、個々や学級の音の重なりを感じとらせる工夫をする。	
図画工作	- 思いのままに表したり、作品などを見たりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。 - 感じたことや材料などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、つくり方などを考えたりする。 - 体全体の感覚を働かせながら材料や用具を使い、工夫して表す。 - 身の回りの作品などの形や色などから、面白さに気付いたり、楽しさを感じたりする。	- 作品づくりの流れを提示したり、段階的に分けた見本を見せたりすることにより、児童が見通しをもって取り組めるようにする。 - 活動中に何度も賞賛の言葉を掛けたり、児童の工夫を取り上げて紹介したりして、児童が自信をもって活動できるように意欲につなげる。 - 考えたり思い出したり自分なりに工夫したり友達の作品のよいところを参考にしたりして、伸び伸びと取り組むことができるようにする。 - 基本的な用具の扱いを定着させる容易な教材を積み重ねる。 - はさみやのり、粘土、絵の具を使う題材を計画的に取り上げることで、用具の扱い方を定着させる。 140周年の思いを込め、立体作品としてお祝いのケーキを作り、作り出す喜びや、鑑賞しあうよさを味わわせる。	
体育	- 運動にすすんで取り組むとともに、誰とでも仲よく、健康・安全に留意しようとする。 - 運動の仕方を工夫する。 - 運動を楽しく行うための基本的な動きを身に付ける。	- 児童に対して安全への意識を指導するとともに、安全に行える環境を設定して指導を行う。 - 友達と関わる機会を多く設定し、協力して取り組む活動を取り入れる。上手な児童を取り上げ、他の児童へ広げていく。 - 楽しく活動できる運動を用意し、力いっぱい運動する時間を増やし、体力を向上させる。 - 多様な運動や体づくり運動を取り入れたゲームを行うことで楽しみながら運動に取り組めるようにする。 - 運動やゲームの仕方を考え、工夫することができるよう、自分たちでルールを工夫したり、考えて運動したりできる場を取り入れる。	

	育てたい力	具体的な授業改善策	評価・反省（2月）
国語	- 相手に応じ、身近なことなどについて事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさず最後まで聞いたり、話題に沿って話し合ったりする。 - 経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く。 - 書かれている事柄の順序や場面の移り変わりなどに気付いたり、想像を広げたりして本や文章を読む。 - 伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴や決まり、文字の使い方などについて理解して使ったりするとともに、文字を正しく丁寧に書く。	- 話型や受け応えの例を示しながら、安心して話せる場を設定する。 - 語と語、文と文のつながり方や「」（かぎ）の使い方、句読点の打ち方を指導し、書く活動を行う。 - 行事に合わせて、構成を考えて書く活動を取り入れる。 - ワークシートを使い、書く機会を増やしていく。 - 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読を工夫させる。 - 説明的な文章を読み、問いと答えの構成をワークシートで確認し、読み取らせるようにする。 - 教科書の文章と関連した読書活動を取り入れ、調べたことを発表する活動を行い、言語活動の充実を図る。 - 文学的な文章を場面の移り変わりに気を付けて読み、登場人物の行動を中心に想像を広げさせるため、役割演技などを取り入れ心情の読み取りを深める。	
算数	- 数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもとにするとともに、知識や技能などをすずんで用いようとする。 - 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、数理的な処理に親しみ、考え、表現したり工夫したりする。 - 整数の計算をしたり、長さや体積などを測定したり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり、読み取ったりするなどの技能を身に付ける。 - 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方、整数の計算の意味、長さや体積などの単位と測定の意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解する。	- 単元のはじめには、児童の興味、関心を高めるために具体物や半具体物・掲示資料を用意したり、身近な問題と関連させたりして紹介する。 1時間のはじめには「めあて」を児童に提示し、学習のねらいを意識させて取り組ませていく。 - 問題解決型の授業を展開し、ノートに自分の考えを書いたり、ペアで考えを交流させたりして児童が思考する時間を確保する。また、分かりやすくノートにまとめさせたり、発表させたりして、表現力も高めていく。 - 発表の場を設け、児童の言葉を大切にするとともに、教え合いの時間も設け、苦手意識のある児童に向けて説明させることで、互いにより理解を深める学習を展開する。 - 九九においては、ブロックを積極的に活用したり、アレイ図で問題場面を表したりすることで、理解を促す。 - 絵や図にしたり、具体物や半具体物を用いて考えたりすることを繰り返し指導する。 - 九九チャレンジカードなどを用い、個別に学習状況を確認しながら学習の定着を図る。	
生活	- 身近な人、社会、自然及び自分自身又、140周年を迎えた学校に関心をもち、すずんでそれらと関わり、楽しく意欲的に学習したり、生活したりしようとする。 - 調べたり、育てたり、作ったりするなどの活動や学校、家庭、地域における自分の生活について、自分なりに考えたり、工夫したり、振り返ったりして、それらを素直に表現する。 - 具体的な活動や体験によって、学校、家庭、地域、公共物、身近な自然、動植物、自分の成長などの様子、それらと自分との関わり及び自分自身のよさに気付く。	- 幅広く様々な活動をさせる中で、人や物に対する関心を高め、より意欲的に関わる姿を育てていく。 - 個別に支援し、活動や気付きを価値付けたり、友達の見習い方法を真似させたりして、自信をもたせていく。 - 学校探検や町探検など異学年交流による学び合いの場や、地域の人から学ぶ機会を積極的に設定する。 - 自分の発見を他者に伝える機会を多く設ける。 - 学習のねらいに応じて児童が書く視点を明確にして「みつけたよカード」に、記録できるようにする。 - 自分たちで働くことや体験する活動を計画し、活動の楽しさを味わえるようにする。 140周年のお祝いの活動を、生活科の学習と関連させて学習させる。	
音楽	- 楽しく音楽に関わり、音や音楽に対する関心をもち、音楽表現や鑑賞の学習に自らすすんで取り組もうとする。 - 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生みだすよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いをもつ。 - 音楽表現をするための基礎的な技能を身に付け、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくらせる。 - 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生みだすよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲や演奏の楽しさに気付く、味わう。	- 一人一人が楽しく取り組むことができるような教材や楽曲を精選する。 - 鍵盤ハーモニカの技能では個々に運指などを確認しながら、基礎・基本が身に付くようにする。 - 拍の流れを感じ取り、拍打ちやリズム打ち、言葉のリズムなどを表現することができるように常時活動として多く設定する。 - 音楽会に向けて、ペアやグループで練習し、互いの音や表現のよさを感じ取ることができるようにする。 - 鑑賞活動では、知覚と感受を結び付けながら音楽を聴くために、板書やワークシートを工夫する。	
図画工作	- 作品を思いのままに表したり見たりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。 - 感じたことや材料などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、つくり方などを考えたりする。 - 体全体の感覚を働かせながら材料や用具を使い、工夫して表す。 - 身の回りの作品などの形や色などから、面白さに気付いたり、楽しさを感じたりする。	- 作品づくりの流れを提示したり、見本を見せたりすることにより、児童が見通しをもって取り組めるようにする。活動中に何度も賞賛の言葉を掛けたり、よく工夫されているところを紹介したりして、児童が自信をもって活動できるようにする。 - 基本的な用具の扱いを定着させる容易な教材を積み重ねていく。 - 感じたことや考えたことを伸び伸びと表現し、自分なりに工夫したり、友達の作品の良いところを参考にしたりして、自由に取り組むことができるようにする。 - 友達の作品を見合う活動を通して、良いところを認め合い学び合い、自分の作品づくりに生かしたり意欲につなげたりする。	
体育	- 運動にすすんで取り組むとともに、誰とでも仲よく、健康・安全に留意しようとする。 - 運動の仕方を工夫する。 - 運動を楽しく行うための基本的な動きを身に付ける。	- 児童が楽しんで取り組めるように、どの単元の学習でも簡単な動きや技を紹介し、運動する楽しさを味わわせていく。 - 水泳においては、リズム水泳を組み込み、水の中で動く楽しさと共に、潜ったり浮いたりする動きを入れ、水泳の力を高める。 - ゲームでは、チームで協力する態度や勝敗を受け入れる態度を育てていく。 - マット遊びや跳び箱遊びでは、器具や用具を安全に用意したり片付けたりできるようにする。	

	育てたい力	具体的な授業改善策	評価・反省（2月）
国語	● 相手や目的に応じ、調べたことなどを、筋道立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたり、進行に沿って話し合ったりする。 ● 相手や目的に応じて、調べたことが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く。 ● 目的に応じ、内容の中心を捉えたり、段落相互の関係を考えたりしながら読むとともに、幅広く読書しようとする。 ● 伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴や決まり、文字の使い方などについて理解し使ったりしながら、文字の形や大きさ、配列、筆圧などに注意して書く。	● 話型や話合いの進行の仕方を例示するとともに、相手の人数や目的など具体的な場面を明確にして話合い活動の場を多く設定する。 ● 形式段落を十分理解させるとともに、書こうとすることの中心を明確にし、メモを活用しながら文章を書くよう指導する。他教科と関連付けて、報告文や新聞、手紙など多様な言語活動を設定する。 ● サイドラインや書き込みによって中心となる語や文を捉えさせ、要点をまとめたり、小見出しを付けたりする活動を設定する。教材文と関連した図書を用意し、環境を整える。 ● 詩や俳句などの音読を家庭学習と連動して取り組ませる。言葉の決まりや新出漢字の短文作りの学習で国語辞典の活用を促す。毛筆の書写で取り組んだ文字を用いて硬筆による短文を書かせ、学びを日常の硬筆に生かすようにする。	●
社会	● 地域における社会的事象に関心をもち、それを意欲的に調べ、地域社会の一員としての自覚をもつとともに、地域社会に対する誇りと愛情をもつとする。 ● 地域における社会的事象から学習問題を見いだして追究し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて思考・判断したことを適切に表現する。 ● 地域における社会的事象を的確に観察、調査したり、地図や各種の具体的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりする。 ● 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動、地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きを理解する。	● 学校のまわりや家の近くの場所などの、児童が知っている身近なところをきっかけとして学習を進め、関心をもって学習に取り組めるようにする。 ● 学区や文京区の様子では、今までは何気なく見過ごしていたであろう身近な場所について、改めて目を向けさせ学習課題を設定し、体験活動を通して町の様子に気付かせるようにする。 ● スーパーマーケットや印刷工場の学習では、施設見学を行い、見学やインタビューを通して、働く人の願いや思いに気付かせるようにする。 ● 140周年と関連させ、昔のくらしや道具について調べ学習を設定する。本校のあゆみ館を見学したり七輪体験を設定したりして、現代の道具との違いについて考えさせる。そして、先人の苦労や知恵を感じ取るとともに愛校心を育むようにする。	●
算数	● 数理的な事象に関心をもち、知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道立てて考えたりすることのよさに気付く、すすんで生活や学習に活用しようとする。 ● 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について見通しをもち筋道立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付ける。 ● 整数などの計算をしたり、長さや重さなどを測定したり、図形を構成要素に着目して構成したり、数量の関係をなどを表したり読み取ったりするなどの技能を身に付ける。 ● 数量や図形の関係を豊かにするとともに、整数、小数及び分数の意味と表し方、計算の意味、長さや重さなどの単位と測定の意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解する。	● レディネステストを基に習熟度別少人数クラスを編成し、児童の課題に応じた手だてを考え、指導に生かす。 ● 単元の導入においては、既習事項を想起させたり、日常生活の中で用いられる数量と結び付けたりして解決できるような課題を設定する。 ● 「量と測定」や「図形」の領域においては、学習内容に応じて作業的・体験的活動を重視する。 ● 問題解決型の授業を展開し、自力解決場面や集団検討場面における思考力と表現力の向上を目指す。 ● 良いノートの例を提示し、ノート指導の充実を図る。これは、毎時間の児童の思考過程を明らかにすることによって指導の手だてに生かすとともに、児童の振り返りや児童・教師の評価を継続して行うためでもある。 ● 習熟度に応じたミニプリントを用意し、学習内容の確実な理解と活用を促す。	●
理科	● 自然の事物・現象に興味・関心をもって追究し、生物を愛護するとともに、見いだした特性を生活に生かそうとする。 ● 自然の事物・現象を比較しながら問題を見だし、差異点や共通点について考察し、表現して、問題を解決する。 ● 簡単な器具や材料を見付けたり、使ったり、作ったりして観察、実験や物づくりを行い、その過程や結果を分かりやすく記録する。 ● 物の重さ、風やゴムの力並びに光、磁石の性質や働き及び電気を働かせたときの現象や生物の成長の決まりや体のつくり、生物と環境と関わって、太陽と地面の様子などについて実感を伴って理解する。	● 主体的に学習に取り組めるように、単元や1時間ごとのめあてを提示するとともに、問題解決型の授業を展開する。児童が興味・関心をもつことができるように課題提示を工夫したり、実験教材の準備などの環境整備を行ったりする。 ● 予想や結果、考察、まとめなどノートの活用の仕方を例示し、表現力の向上を目指す。 ● 思考力・表現力の個人差に配慮するため、観点や表現方法を具体的に示して指導を行う。 ● 自然の事物や現象についての気付きや疑問を大事にし、日常生活の中で話題にしたり生き物の世話を行うなどの環境を整備したりする。	●
音楽	● すすんで音楽に関わり、音や音楽に対する関心をもち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとする。 ● 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すやさしさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもつ。 ● 音楽表現をするための基礎的な技能を伸ばし、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりする。 ● 音楽を形づくっている要素を聴き取り、面白さを知覚・感受し、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く、味わって聴く。	● 集団や個性に応じ、一人一人が楽しんで取り組めるような教材を精選する。 ● 器楽活動においては、リコーダーの学習に重点を置き、苦手意識をもたないように指導や学習形態を工夫する。 ● 音楽会を意識して、基本的な楽譜の読み方が確実にできるようにし、合奏の楽しさを味わうことができるようにする。 ● 題材の終わりには、お互いに聴き合う機会をつくり、表現する楽しさを味わわせる。 ● 鑑賞では、知覚したことと感受したことを結び付けることができるように板書やワークシートなどを工夫しながら行っていく。	●

図画工作	● 自分の思いで表現したり、鑑賞したりしながら、作りだす喜びを感じさせる。 ● 見たことや感じたことを、材料や場所などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりする。 ● 手や体全体の感覚を働かせながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する。 ● 身近にある作品などの形や色などから、表現の感じの違いを捉えたり、よさや面白さを感じ取ったりする。	● 作品づくりの流れを提示したり、見本を段階に分けて示したりすることにより、児童が見通しをもって取り組めるようにする。 ● 活動中に何度も賞賛の言葉を掛けたり、見本の提示を行ったりして、児童が自信をもって活動できるようにする。 ● 児童の工夫を取り上げて紹介し、造形的な観点の良さに気付かせる。 ● 友達の作品を鑑賞し、良いところを認め合う活動を取り入れることにより、作品づくりのモチベーションを高める。 ● 基本的な用具の取り扱い方について例を示して理解させ、安全に活動ができるようにする。 ● 友達や自分の作品の良いところをカードに書くなどして、鑑賞の活動を広げていく。	●
体育	● 運動にすすんで取り組むとともに、決まりを守り互いに協力し、健康安全に留意しようとする。 ● 自己の能力に適した課題をもち、運動の仕方を工夫する。 ● 運動を楽しく行うための基本的な動きや技能を身に付ける。 ● 健康な生活に関心をもち、課題の解決を目指して実践的に考え判断し、それらを表す。 ● 健康な生活について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解する。	● 単元の初めに、オリエンテーションを行うことで、単元全体の学習の流れを示し、児童が見通しをもってすすんで学習に取り組めるようにする。 ● 教材や教具を精選して、効果的な活動や場を設定し、児童が基本的な動きや技能を身に付けられるようにする。 ● 教員が基本のルールを提示したり、児童と相談して新しいルールを作ったりして、ルールを工夫しながら、児童が楽しく学習に取り組めるようにする。 ● ペアやトリオ、グループでの活動を多く取り入れ、友達と関わり合い、協力し合いながら、技能を向上させられるようにする。	●

	育てたい力	具体的な授業改善策	評価・反省（2月）
国語	- 文章の読解力が十分ではないため、各教科の理解についても影響があるとみられるため、読解力をつけ、正しく文章を読み取り、正しく伝える国語力を培いたい。 - 国語に対する関心を深め、互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う意識をもつ。 - 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたり、進行に沿って話し合ったりする。 - 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く。 - 目的に応じ、内容の中心を捉えたり段落相互の関係を考えたりしながら本や文章を読む。 - 事実と意見との関係を考えて読み、筆者の考えを的確に捉える。 - 伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴や決まり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を形や大きさ、配列、筆圧などに注意して書く。	- 語彙を増やし、言葉で相手に自分の気持ちや考えを表現することができるように、国語辞書を学年棚に用意して、言葉に関心をもちやすい学習環境を整える。 - 話型の例を示し、根拠や理由を述べながら、筋道を立てて意見を言う習慣付けをする。 - 対話やグループ活動、全体活動と話す機会を設け、他者との意見交流をしながら、互いの共通点や相違点に気付くとともに、多様な意見を受け入れ、認め合うことができるように指導する。 - 書くことに慣れるように、行事の前後の作文や、ノートへの振り返りなど、書く機会を増やすようにする。構成メモなどを活用して、中心となる話や、順序などに気を付けて文章を書くことができるようにする。 - 説明文など、文章の構造を捉えて読むことができるようにする。順序を表す言葉や、事実を表す言葉、推測する言葉などを捉えて、正しく理解できるようにする。 - 読解力をつけるために、言葉一つ一つについて吟味し、指示語の意味を考えたり、文章の意味を考えたりしながら読み解くようにしていく。 - 音読の宿題を出し、文章に慣れるとともに、内容への理解や場面の想像ができるようにしていく。詩や短歌、落語など、伝統的な言語文化の暗唱などもさせ、美しい言葉に触れさせたり、リズム感を養ったりする。 - 文字の中心線やとめ、はね、はらいを意識して整った文字を丁寧に書く習慣を培う。	
社会	- 地域社会に関心をもち、問題点を捉えたり、改善点を考えたりする地域社会の一員としての主体的な意識を育てていきたい。 - 資料を読み取って、根拠をもって理解していく習慣と、説得力のある具体的な数字を示そうとしていく力を培いたい。また、情報や資料の出典についての意識を高め、情報の信憑性を見抜く力も培うようにしていきたい。 - 地域における社会的な事象に関心をもち、それを意欲的に調べ、地域社会の一員としての自覚をもつとともに、地域社会に対する誇りと愛情をもとうとする。 - 地域における社会的な事象から学習問題を見だし、追究し、地域社会の社会的な事象の特色や相互の関連などについて思考・判断したことを適切に表現する。 - 地域における社会的な事象を的確に観察、調査したり、地図や各種の具体的な資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりする。 - 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動、地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きを理解する。	- 安全な暮らしの学習から、ポスターセッションで、まとめ方をグループで考え、発表の仕方を工夫して、保護者に伝えていく活動をする。 - 消防署の出前授業で質問をしたり、企業の水の学習で実験を見たり、外部との連携で学習に広がりや深まりをもたせるようにし、主体的に関わって学ぶ姿勢を培う。 - 学習したことを、自分のテーマに絞って新聞にまとめる活動を通して、絵や図、表やグラフなどを活用しながら、資料の活用能力を高めるようにする。 140周年記念行事に合わせ、地域の伝統行事や文化についての調べ学習を進めていく。写真や具体物を用いて、時代による変化や人々の思いについて理解を深める。 - 清掃工場や埋め立て処分場などを見学し、ごみの学習を進める中で、今日的な課題を捉え、自分たちの生活を見直すことができるようにする。 - 水の学習では、自分たちの生活を基に調べ学習をし、東京都の水がどのように届けられ、使った水がどのような流れを経ていくのか、資料を活用しながら学習していくようにする。	
算数	- 数理的な事象に関心をもち、ともに、知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道立てて考えたりすることのよさに気付く、すすんで生活や学習に活用しようとする。 - 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について見通しをもち筋道立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付ける。 - 整数、小数及び分数の計算をしたり、図形の面積を求めたり、図形を構成要素の位置関係に着目して構成したり、数量の関係などを表したり調べたりするなどの技能を身に付ける。 - 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数、小数及び分数の意味と表し方、計算の意味、面積などの単位と測定の意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解する。	- 学習内容定着度状況調査を基に、児童の苦手分野の単元・領域を重点的に指導する。 - 習熟度別での学習を通し、個々の課題に応じた指導を計画していく。 - 具体物を操作したり、繰り返し同様の問題を解いたりしながら、基礎力の確認と定着を図る。 - 学習したことを活用して、ものづくりや身近な活動への展開など、応用的な学習をしていく。 - 筋道を立てて説明する力を培うことができるように、発言の機会を設ける。また、自分なりの解決方法を考え、それを伝え、広げていくことができるように、一問一答型ではなく、答えに広がりのある問題を提示する。 - 文章問題の構造を捉え、重要な語句を抜き出すようにしたり、数直線や線分図などにして視覚化して表したりして、問題を整理していくようにしていく。	
理科	- 自然の事物・現象に興味・関心をもって追究し、生物を愛護するとともに、見いだした特性を生活に生かそうとする。 - 自然の事物・現象の変化とその要因との関わりについて問題を見だし、変化と関係する要因について考察し表現して、問題を解決している。 - 簡単な器具や材料を見付けたり、使ったり、作ったりして観察、実験や物づくりを行い、その過程や結果を分かりやすく記録する。 - 空気や水の性質や働き、物の状態の変化、電気による現象や人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、気象現象、月や星の動きなどについて実感を伴って理解する。	- 問題解決型の学習展開を継続して実施し、児童が学習の進め方を理解し、見通しをもって学習できるようにする。 - 予想・結果・考察などノートに記述する時間を十分確保する。また、継続的に指導することにより、自分の考えを表現できるようにする。（絵・図・表・文章・式など） - 一人一人の児童が自分の考えをもって表現できるように、2人、グループ、全体による話し合いの場を設け、発言の機会を増やすとともに表現技能を高める。 - ノートに実験図・実験経過を整理させ、思考の経過を記録させるとともに、そこから物の性質、決まり、規則性などを求められるように促す。 - 各自が主体的に学習に取り組めるよう、実験器具など学習環境を整える。 - 既習事項を活用してできるものづくりを通して、技能や感覚を育てる。	

音楽	● すすんで音楽に関わり、音や音楽に対する関心をもち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組みとする。 ● 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもつ。 ● 音楽表現をするための基礎的な技能を伸ばし、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりする。 ● 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさに気づき、味わって聴く。	● 集団や個性に応じ、一人一人が楽しんで取り組めるような教材を精選する。 ● 一つの題材の中で学習する内容を明確にし、児童の技能が高まるように学習活動を工夫する。 ● 音楽会を意識して、基本的な楽譜を読み方が確実にできるようにし、合奏の楽しさを味わうことができるようにする。 ● 題材の終わりには、お互いに聴き合う機会をつくり、表現する楽しさを味わわせる。 ● 音程、響き、呼吸、発音、表情など、ねらいをしばって指導する。 ● 鑑賞では、知覚したことと感受したことを結び付けることができるように板書やワークシートなどを工夫しながら行っていく。	
図画工作	● 自分の思いで表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。 ● 見たことや感じたこと、材料や場所などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりする。 ● 手や体全体の感覚を働かせながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する。 ● 身近にある作品などの形や色などから、表現の感じの違いを捉えたり、よさや美しさを感じ取ったりする。	● 活動中に何度も賞賛の言葉を掛けたり、見本の提示を行ったりして、児童が自信をもって活動できるようにする。 ● 児童の工夫を取り上げて紹介し、意欲を高めるとともに、造形的な観点のよさに気付かせる。 ● 基本的な用具の扱いを定着させる簡単な教材や、紙や粘土を使った手軽な教材を積み重ねていく。 ● 完成した児童の作品を見て、鑑賞カードに友達の作品のよいところを書くなどして、鑑賞の活動を広げていく。	
体育	● 運動にすすんで取り組むとともに、決まりを守り互いに協力し、健康安全に留意しようとする。 ● 自己の能力に適した課題をもち、運動の仕方を工夫する。 ● 運動を楽しく行うための基本的な動きや技能を身に付ける。 ● 体の発育・発達について関心をもち、課題の解決を目指して実践的に考え、判断し、それらを表す。 ● 体の発育・発達について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解する。	● めあてをもって取り組むことができるように、目標を示しながら学習を進める。 ● ゲームなどでは、チームで話し合っって簡単な作戦を考えたり、互いを認め合い、支え合いながらゲームを進めたりして、みんなと一緒に運動することを楽しむことができるようにしていく。 ● 器械運動では、安全に気を付けながら、技を習得する過程における自分の体の動きの変化を実感できるようにしていく。 ● 体力テストの結果を分析して、苦手としている点について、克服できるように体力を高める活動を入れていく。 ● できるようになった喜びを感じられるようにするとともに、それを支える友達との関わり合いや協力し合いなど、全体の意識を高めることができるようにする。	

	育てたい力	具体的な授業改善策	評価・反省（2月）
国語	- 国語で伝え合う力をすすんで高めるとともに、国語に対する関心を深め、適切に話したり聞いたり書いたり読書を通して考えたり広げたり深めたりしようとする。 - 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたり、計画的に話し合ったりする。 - 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く。 - 目的に応じ、内容や要旨を捉えながら本や文章を読む。 - 伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴や決まり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を書く目的や用紙全体との関係、点画のつながりなどに注意して書く。	- 日直のスピーチなどでは、毎日のニュースに関心をもち、事柄を明確に友達に伝え、それについての自分の感想をもたせる。 - 話し合い活動を、2人（対話）、グループ（3～4人）、全体で行う機会をもたせる。 - 友達との話し合い活動を通して、共通点や相違点を知るとともに、自分の考えを深めさせる。 - 自分の考えを明確にし、文章の構成や効果的な表現を考えて書かせる。 - 事実と感想、意見などを区別して書かせる。 - 自分の思いや考えが伝わるように、音読を工夫させる。 - 説明的な文章の構成をつかんで読み、筆者の考え方について自分の意見をもたせる。 - 文学的な文章を読んで、登場人物の心情を考え、それについての自分の感想をもたせる。 - 硬筆や毛筆で文字の形や点画の流れを意識して書かせる。	
社会	- 我が国の国土と産業の様子に関する社会的事象に関心をもち、それを意欲的に調べ、国土の環境の保全と自然災害の防止の重要性、産業の発展や社会の情報化の進展に関心を深めるとともに、国土に対する愛情をもとうとする。 - 我が国の国土と産業の様子に関する社会的事象から学習問題を見いだして追究し、社会的事象の意味について思考・判断したことを適切に表現する。 - 我が国の国土と産業の様子に関する社会的事象を的確に調査したり、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめる。 - 我が国の国土と産業の様子、国土の環境や産業と国民生活との関連を理解する。	- 農業・水産業・工業・情報の学習を通して児童が自分たちの生活を見直し、さらに充実したものになるよう関心をもちさせる。 - 特に農業については、実際に稲作を体験することによって学習を深め、農業に携わる人々の努力や工夫を知る。 - 水産業や工業については、生産から消費者の手元に届くまでの仕組みを理解させ、それらを総合的に判断して日常生活に生かせる力を付けさせる。 - 情報教育については、全世界に発信できる便利さとともに危険性などについても触れ、必要な情報を正しく判断したり選択したりできる力を付けさせる。 - 資料活用については、数値を正確に読み取るだけでなく、複数の項目からその数値や事象の根拠を分析するなどして、有効に活用できるようにする。	
算数	- 数理的な事象に関心をもち、数量や図形の性質などに着目して考察したり、論理的に考えたりすることのよさに気づき、すすんで生活や学習に活用しようとする。 - 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について論理的に考え表現したり、そのことを基に発展的、統合的に考えたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付ける。 - 小数や分数の計算をしたり、図形の面積や体積を求めたり、図形の性質を調べたり、数量の関係などを調べたりするなど技能を身に付ける。 - 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の性質、分数の意味、小数や分数の計算の意味、面積の公式、体積の単位と測定に意味、図形の意味や性質及び数量の関係などについて理解する。	- 学力調査などを基に、児童の苦手分野の単元・領域を重点的に指導する。 - 問題解決型の授業を展開し、自力解決場面、集団検討場面における児童の表現力を育成する。 - ベーシックドリルを活用し、反復練習による基礎・基本の徹底を図る。 - 自分の考えを筋道立てて分かりやすく表現できるよう、ノートやワークシートの活用の仕方を指導する。 - 自分の考えを伝え合う・話し合う活動では、ペア学習や少人数での話し合い活動などを取り入れ、児童の表現意欲を高める。 - 発展的な学習を通して、考えたことを話し合う活動を取り入れた授業を工夫する。 - 習熟度別学習、少人数指導などを実践し、個に応じた指導の充実を図る。	
理科	- 自然の事物・現象を意欲的に追究し、生命を尊重するとともに、見いだした決まりを生活に当てはめてみようとする。 - 自然の事物・現象の変化とその要因との関係に問題を見だし、条件に着目して計画的に追究し、量的変化や時間的変化について考察し表現して、問題を解決する。 - 問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験や物づくりを行い、その過程や結果を的確に記録する。 - 物の溶け方、振り子の運動の規則性、電流の働きや、生命の連続性、流水の働き、気象現象の規則性などについて実感を伴って理解する。	- 児童の主体的な問題解決学習となるように、体験的な学習や興味・関心がより高まるような授業展開の工夫を図る。 - 実際の自然や事物現象に出会う場面を意図的につくり出し、学習の必然性を伴うような各単元での学習の導入を展開していく。 - 児童の素朴な疑問や既有知識との照合などを通して、より疑問を深めていきたいという意欲の向上へとつなげられるように実験・観察の計画を児童の考えの中から提案していけるような学習過程を生み出していく。 - 実験や観察から得られた結果を数値化したり、文章でまとめたりすることで、科学的な見方や考え方に通じるような数値の意味合いを捉えたり、結果の考察をしたりするように進めていく。	
音楽	- 創造的に音楽に関わり、音や音楽に対する関心をもち、音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 - 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもつ。 - 音楽表現をするための基礎的な技能を高め、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽を作ったりする。 - 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴く。	- 児童が興味関心を高めることができる教材を選択し、思いや意図をもって取り組むことができるような題材を設定する。 - 学習内容のねらいを明確にし、児童の技能が高まるように学習活動を工夫する。 - 音楽会に向けて、基本的な技能を身に付けることができるようにし、ハーモニーや音のバランスを意識することができるようにする。 - 表現活動では、グループで練習する機会を多く設定し、児童自らが演奏を高めることができるような工夫をする。 - 鑑賞では、知覚したことと感受したことを結び付けることができるように板書やワークシートなどを工夫しながら行っていく。	

図画工作	● 自分の思いをもって表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。 ● 感じたことや見たこと、材料や場所などの特徴を基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途や構成などを考えたりする。 ● 感覚を働かせたり経験を生かしたりしながら、表したいことに合わせて、材料や用具を使い様々な表し方を工夫する。 ● 親しみのある作品などの形や色などから、表現の意図や特徴を捉えたり、よさや美しさを感じ取ったりする。	● 活動中に何度も賞賛の言葉を掛けたり、見本の提示を行ったりして、児童が自信をもって活動できるようにする。 ● 児童の工夫を取り上げて紹介し、造形的な観点の良さに気付かせる。 ● 木工などの難しい材料を使った工作などを取り入れ、児童の思いや創造を生かして計画的に物づくりができるようにする。 ● 鑑賞を通して一人一人の児童が自分の作品が好きになり、自信をもてるようにする。 ● 友達との関わりをもちながら、安全に、安心して活動できる環境をつくる。	●
家庭	● 自分の成長と衣食住や家族の生活などについて関心をもち、その大切さに気付き、家族の一員として家庭生活をよりよくするためにすすんで取り組み実践しようとする。 ● 衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見付け、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために考えたり自分なりに工夫したりする。 ● 生活の自立の基礎として日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技能を身に付ける。 ● 家庭生活を支えているものや大切さを理解し、日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付ける。	● 普段の生活の中で縫物をしているところやミシンを扱っている光景などを見ることも少なくなっているため、道具やミシンの操作などの習得までかなりの時間を要するようになっている。そこで、裁縫では個別指導を行ったり、グループで協力させたりして、基礎的技術の定着を図る。 ● 自分の使えるものを作成することで、手作りの良さや温かさに気付かせる。 ● 調理法の簡単なものから始め、用具の使い方や調理の仕方、後片付けの仕方が身に付くようにする。 ● 自分で調理ができることの喜びを知り、学んだことを家族のために作ってあげたいと思う心を育てる。 ● 家族の中で自分の役割を見付け、実践できる具体的な課題を与える。	●
体育	● 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、すすんで運動に取り組むとともに、協力、公正などの態度を身に付け、健康・安全に留意しようとする。 ● 自己の能力に適した課題の解決の仕方や運動の取り組み方を工夫する。 ● 運動の特性に応じた基本的な技能を身に付ける。 ● 心の健康やけがの防止について関心をもち、課題の解決を目指して実践的に考え、判断し、それらを表す。 ● 心の健康やけがの防止について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解する。	● めあてに応じた練習の方法を指導し、児童が学習の進め方を理解して、主体的に運動や練習に取り組めるようにする。 ● 運動の特性に応じて、個別での学習や、ペア・トリオ学習、グループ学習を取り入れ、関わり合ったり、協力し合ったりしながら学習できるようにする。 ● ルールを工夫し、今もっている力で楽しめるゲームを行う。 ● 児童が楽しみながら意欲的に運動に取り組み、技能を高められる指導法を授業者が開発して、運動への関心・意欲や技能の向上に結び付ける。 ● 心の健康やけがの防止について、日常生活の実態に即して、適宜指導を重ねることで、より身近な課題として感じ取らせ、判断力や実践力を養う。 ● 体力テストの結果を分析して指導に生かし、年間を通して体力を高めることに取り組む。	●

	育てたい力	具体的な授業改善策	評価・反省（2月）
国語	- 国語に対する関心を深め、言語活動による伝え合う力を高める。 - 読書を通して、考えたり広げたり深めたりしたり、資料を集めて活用したりする。 - 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことについて、的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたり、計画的に話し合ったりする。 - 目的や意図に応じて、効果的な構成を考えて、文章を書く。 - 目的に応じ、内容や要旨を捉えながら文章を読む。 - 伝統的な言語文化に触れ、昔の人のものの見方や感じ方を知り、興味・関心を深める。 - 言葉の特徴や決まりについて理解し、言葉遣いなどの使い方に慣れる。 - 文字の大きさや配列など、用紙全体との関係に注意し、書く速さを意識して書くことができる。	- 朝のスピーチ活動を継続的に実施する。 - 話し合い活動を、2人（対話）、グループ（3～4人）、全体で行う機会をもち、友達の見解との共通点や相違点を知るとともに、自分の考えを深めるようにする。 - 本に親しんだり、資料として活用したりする機会をもつ。 - 自分の考えを明確にし、文章の構成や効果的な表現を考えたり、事実と感想、意見などを区別したりして書かせる。 - 毎日の音読（家庭学習）では、自分の思いや考えが伝わるように、工夫して読むようにさせる。 - 説明的な文章の構成をつかんで読み、筆者の考え方について自分の意見をもったり、文学的な文章を読んで、登場人物の心情を考え、それについての自分の感想をもったりできるような活動ができる単元構成をする。 - 古典文学の一節に触れ、昔の人の感じ方、考え方を学び、音読・暗唱をして言葉のリズムを楽しませる。 - 鉛筆や毛筆で文字の形や点画の流れを意識して書かせる。	
社会	- 我が国の歴史と政治及び国際社会における我が国の役割に関心をもち、それを意欲的に調べ、我が国の歴史や伝統を大切にし国を愛する心情をもつとともに、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることの自覚をもとうとする。 - 我が国の歴史と政治及び国際理解に関する社会的事象から学習問題を見いだして追究し、社会的事象の意味についてより広い視野から思考・判断したことを適切に表現している。	- 歴史上の主な事象に関わる人物の働きの歴史的背景を考えさせながら、歴史や先人の働きを学習することに関心をもちさせる。 - 政治の働きを生活との関連で考えさせることで、国民生活には地方公共団体や国の政治が反映していることを理解できるようにする。 - 児童が自分で調べる学習を多く取り入れ、主体的に学習を進められるようにする。その際、コンピューターや各種の資料を活用する意欲がもてるようなテーマを設定する。 - 写真や資料集を効果的に活用し、資料から正確に事実を読み取らせる。意見が複数に分かれる題材を提示し、自分の立場を理解しながら話させる。	
算数	- 数理的な事象に関心をもち、数量や図形の性質などに着目して考察したり、論理的に考えたりすることのよさに気づき、すすんで生活や学習に活用しようとする。 - 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について論理的に考え表現したり、そのことを基に発展的、統合的に考えたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付ける。 - 分数の計算をしたり、図形の面積や体積を求めたり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり調べたりするなどの技能を身に付ける。 - 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、分数の計算の意味、速さの意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解する。	- 学力・学習状況調査やベーシックドリルの結果を基に、児童の苦手分野の把握に努め、その単元の重点的な指導を図っていく。 - 習熟度別学習では、各コースの児童の実態に応じた問題を設け、児童一人一人が意欲的に学習に参加できるようにする。 - 問題解決型の授業を展開し、自力解決場面、集団検討場面における児童の表現力を育成する。 - まず、問題内容の意味理解を促し、自分の考えを筋道立てて表現できるように、ノートやワークシートを実態に合わせた活用を行っていく。 - 数直線の活用を継続的に指導し、児童が根拠をもって立式できるようにする。 - 自分の考えを表現するための手段として、数直線、線分図、表、グラフなどを主体的に書いて表現できるよう、日頃からこれらの記号や用語を交えた指導をしていく。 - 少人数での話し合い活動などを通して、児童の表現意欲が掻きたたえられるように児童相互の考えを生かして伝え合う場を設定していく。	
理科	- 自然の事物・現象を意欲的に追究し、生命を尊重するとともに、見いだした決まりを生活に当てはめてみようとする。 - 自然の事物・現象の変化とその要因との関係に問題を見いだし、条件に着目して計画的に追究し、量的変化や時間的変化について考察し表現して、問題を解決する。 - 問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験や物づくりを行い、その過程や結果を的確に記録する。 - 燃焼、水溶液の性質、てこの規則性及び電気による現象や生物の体の働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化の決まり、月の位置や特徴などについて実感を伴って理解する。	- 生活経験で理科的事象に出会う機会が少ないことを補完することができるよう、自然との触れ合う機会を増やし、児童の疑問が学ぶ楽しみにつながるような授業を展開する。 - 疑問をもって実験に臨んでいくことが習慣化されるように、単に実験をこなすのではなく、常に疑問に戻って実験や観察の意義を振り返る習慣を付けさせていくように心掛ける。 - 視覚に訴えたり、校外の観察活動や移動教室の自然体験活動などを生かしたりして学習への一助としていく。 - 掲示板を活用し、理科室の環境を整えて、楽しく学習できる学習意欲が高まるような掲示物を作成し、掲示する。 - 安全指導については、事前に注意喚起を促して、児童の自発的な安全行動へとつながるような指導を適時に行う。	
音楽	- 創造的に音楽に関わり、音や音楽に対する関心をもち、音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 - 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生みだすよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもつ。 - 音楽表現をするための基礎的な技能を高め、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりする。 - 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生みだすよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴く。	- 児童が興味関心を高めることができる教材を選択し、思いや意図をもって取り組むことができるような題材を設定する。 - 学習内容のねらいを明確にし、児童の技能が高まるように学習活動を工夫する。 - 音楽会に向けて、基本的な技能を身に付けることができるようにし、ハーモニーや音のバランスを意識することができるようにする。 - 表現活動では、ペアで聴き合ったり、グループで練習したりする機会を多く設定し、児童自らが演奏を高めることができるような工夫をする。 - 鑑賞では、知覚したことを結び付けることができるように板書やワークシートなどを工夫しながら行っていく。	

図画工作	● 自分の思いをもって表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。 ● 感じたことや見たこと、材料や場所などの特徴を基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途や構成などを考えたりする。 ● 感覚を働かせたり経験を生かしたりしながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、様々な表し方を工夫する。 ● 親しみのある作品などの形や色などから、表現の意図や特徴を捉えたり、よさや美しさを感じ取ったりする。	● 活動中に何度も賞賛の言葉を描けたり、見本の提示を行ったりして、児童が自信をもって活動できるようにする。 ● 児童の工夫を取り上げて紹介し、造形的な観点の良さに気付かせる。 ● 木工などの難しい材料を使った工作などを取り入れ、児童の思いや創造を生かして計画的に物づくりができるようにする。 ● 鑑賞を通して、一人一人の児童が自分の作品が好きになり、自信をもてるようにする。 ● 友達との関わりをもちながら、安全に、安心して活動ができる環境をつくる。 ● 児童が興味をもつ作品を選定し、授業に取り入れるようにする。	●
家庭	● 自分の成長と衣食住や家族の生活などについて関心をもち、その大切さに気付き、家族の一員として家庭生活をよりよくするためにすすんで取り組み実践しようとする。 ● 衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見付け、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために考えたり自分なりに工夫したりする。 ● 生活の自立の基礎として日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技能を身に付ける。 ● 家庭生活を支えているものや大切さを理解し、日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付ける。	● 普段の生活の中で縫物をしているところやミシンを扱っている光景などを見ることも少なくなっているため、道具やミシンの操作などの習得までにかかる時間を要するようになっている。そこで、裁縫では個別指導を行ったり、グループで協力させたりして、基礎的技術の定着を図る。 ● 調理は、調理法が簡単なものから始め、用具の使い方や調理の仕方、後片付けの仕方が身に付くようにする。 ● 家族の中で自分の役割を見付け、実践できる具体的な課題を与える。	
体育	● 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、すすんで運動に取り組むとともに、協力、運動に応じた基本的な技能を身に付け、健康・安全に留意しようとする。 ● 自己の能力に適した課題の解決の仕方や運動の取り組み方を工夫する。 ● 運動の特性に応じた基本的な技能を身に付ける。 ● 病気の予防について関心をもち、課題の解決を目指して実践的に考え、判断し、それらを表す。 ● 病気の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解する。	● 学習の進め方を継続して指導し、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。 ● ペア学習、トリオ学習、チーム学習を、運動の特性に応じて取り入れ、関わり合い、協力し合って学習できるようにする。 ● 児童が楽しみながら意欲的に運動に取り組み、技能を高められる指導法を授業者が開発して、運動への関心意欲や技能の向上に結び付ける。 ● ルールを工夫し、今もっている力で楽しめるゲームを行う。 ● めあてに応じた練習の方法を紹介し、児童が学習の進め方を知って主体的に運動や練習を進められるようにする。 ● 体力テストの結果を分析して児童の苦手な部分に重点を置き、年間を通して体力を高めることに取り組む。 ● 組立体操を通して力を調整して、動く能力や動きを持続する能力を高める。	